

科 目		必・選	担 当 教 員		学年・学科		単位数	授 業 形 態					
暮らしと環境問題 (Scientific Aspects of Environments)		必	大久保 俊治		2 学年 環境都市工学科		1	半 期 週 2 時間					
授業概要		私たちの生活に身近な水、大気、廃棄物から地球温暖化などの地球規模の環境問題の基礎について講義・演習を行う。											
到達目標		① 地球環境問題をいくつか挙げ、その現状と対策について説明できる。(A) ② 水、大気、土壌に関わる環境問題をいくつか挙げ、その現状と対策について説明できる。(A) ③ 廃棄物処理に関わる現状と対策について説明できる。(A)											
評価方法		基本的に、定期試験結果(80%)と演習の実施状況(20%)に基づいて判断・評価する。											
教科書等		[教科書] 大塚徳勝著 「知らないと怖い環境問題」 共立出版											
内 容									学習・教育目標				
第 1 週	地球環境で何が問題となっているか (オリエンテーションも含む)								A				
第 2 週	森林破壊と生物種の激減								A				
第 3 週	廃棄物処理	廃棄物処理問題の現状							A				
第 4 週		リサイクル							A				
第 5 週		産業廃棄物の問題							A				
第 6 週	土壌汚染と環境ホルモン	土壌汚染の現状							A				
第 7 週		環境ホルモンの話							A				
第 8 週	演習								A				
第 9 週	水圏の環境問題	河川・湖沼・海域の水質汚濁							A				
第 1 0 週		有害金属による汚染							A				
第 1 1 週		水のきれいさ							A				
第 1 2 週		公共工事と環境問題							A				
第 1 3 週	大気汚染と酸性雨	大気汚染の現状							A				
第 1 4 週		酸性雨とオゾン層破壊							A				
第 1 5 週	地球温暖化の話								A				
第 1 6 週													
第 1 7 週													
第 1 8 週													
第 1 9 週													
第 2 0 週													
第 2 1 週													
第 2 2 週													
第 2 3 週													
第 2 4 週													
第 2 5 週													
第 2 6 週													
第 2 7 週													
第 2 8 週													
第 2 9 週													
第 3 0 週													
(特記事項)			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習 ・教育目標	A	B	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
			◎										

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。)

暮らしと環境問題 2学年

私たちの生活に身近な環境から地球規模の環境問題について学修し、地球環境問題、水、大気、土壌などの次のような環境問題の現状と対策について理解し説明できるようにする。

1. 森林破壊と砂漠化、生物種の激減（第1週～2週）

- ・ 地球環境で何が問題か
- ・ 人口爆発と環境問題の関係
- ・ 人口増加と森林破壊
- ・ 広がる砂漠化
- ・ 激減する生物種

2. 廃棄物処理について（第3週～5週）

- ・ 廃棄物処理問題の現状
- ・ リサイクル
- ・ 産業廃棄物の問題

3. 土壌汚染と環境ホルモンについて（第6週～8週）

- ・ 土壌汚染の現状
- ・ 環境ホルモンの話

4. 水圏の環境問題について（第9週～12週）

- ・ 河川・湖沼・海域の水質汚濁
- ・ 有害金属による汚染
- ・ 水のきれいさ
- ・ 公共工事と環境問題

5. 大気汚染と酸性雨について（第13週～14週）

- ・ 大気汚染の現状
- ・ 酸性雨とオゾン層破壊

6. 地球温暖化について（第15週）

- ・ 温暖化の現状
- ・ エネルギー事情